

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		25年度事業・施策評価結果			責任者	建設部 施設事務所長
施策名	港の安全性・信頼性の向上		成果	コスト			
事務事業名	中川口等におけるポンプ施設・通船門等の管理・運営		継続	維持	維持	連絡先	052-661-5282
目的	対象(誰・何を)	ポンプ施設・通船門等				事業期間	昭和26年度～継続
	意図(どういう状態にしたいか)	適正に管理し、災害に備え常に異常なく稼働します。					
概要	中川口ポンプ施設・通船門等について保守点検を行い、不良箇所を発見した場合は緊急度に応じた補修を実施します。					根拠法令等	港湾施設条例施行規則 海岸法第14条の5
活動内容	異常が確認された、または老朽化した設備については、自らまたは外部委託にて補修を行い、災害時に異常なく稼働するようにします。					実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
						関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	144,429	293,774	376,534	271,579	耐波性の向上による通船門の機能アップによる増加
人件費	千円	51,860	60,444	52,414	54,906	
合計	千円	196,289	354,218	428,948	326,485	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
施設の年間試運転の回数(回) (単年度管理型)	目標	-	-	132	-	稼働施設(ポンプ、通船門)の年間総試運転回数を指標とします。	
	実績	132	132	132			
	事業進捗状況(平成26年度)	<small>目標値を上回る</small> <small>目標値をやや下回る</small>			<small>目標値どおり</small> <small>目標値を下回る</small>		
災害時の施設の故障発生件数(件) (単年度管理型)	目標	-	-	0	0	稼働施設の災害時の故障発生件数(年間)を指標とします。	
	実績	0	0	0			
	事業進捗状況(平成26年度)	<small>目標値を上回る</small> <small>目標値をやや下回る</small>			<small>目標値どおり</small> <small>目標値を下回る</small>		
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	中川口ポンプ施設・通船門等について直営及び委託による試運転、点検修理及び委託による定期点検、計画的な維持修繕を実施し、災害時には異常なく稼働しました。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 港湾管理者として、災害発生時に被害が生じることを防ぐため、必要な事業です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○					
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 災害に備え、海岸保全施設としての機能維持ができ、災害時に異常なく稼働しています。					
	期待どおりの成果が得られているか?	○					
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 計画的な維持修繕を実施する事で効率的な事業を実施しています。					

4 ACTION(取組)

課題	平成27年度以降の取組
施設の経年劣化に対応した適正な維持管理が要求されます。	災害発生を防止するため、効率的かつ適正な維持管理を図っていきます。